

|         |       |        |
|---------|-------|--------|
| 対象      | 調べる時期 | かかる日数  |
| 低～高学年向け | 8月    | 1日～4週間 |

## 「身近にいる生き物を観察してみよう」

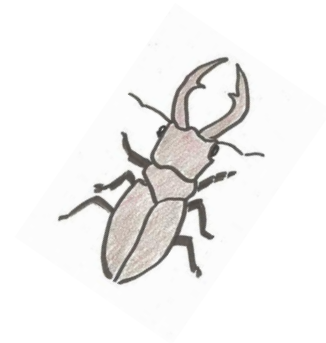
イヌやネコ、トリなどの動物や、アリ、バッタ、チョウなどの虫、木や花などの植物など、昼間に町や公園、家の裏山などを歩くと、いろいろな生き物に出会うことができます。しかし、昼はかくれていて、夜に行動する動物や虫たちもいます。今回は、ふだんなかなか出会えない、夜に活動する昆虫と森の動物の観察の仕方をご紹介します。

### ○昆虫を観察する

ライトトラップで、夜に光に集まる昆虫を観察してみましよう。

#### 1. 準備するもの

- ・ 白い布（光を当てるスクリーンにします。）
- ・ ロープ
- ・ 照明（できるだけ明るい方がよい）
- ・ 昆虫図鑑
- ・ カメラ
- ・ 筆記用具
- ・ 捕まえるのなら、アミと虫かご



#### 2. 手順

暗闇の中に明るい場所を作って虫をおびき寄せます。

①ライトトラップを作ります。

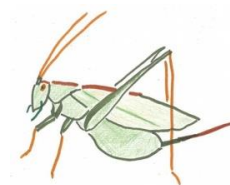
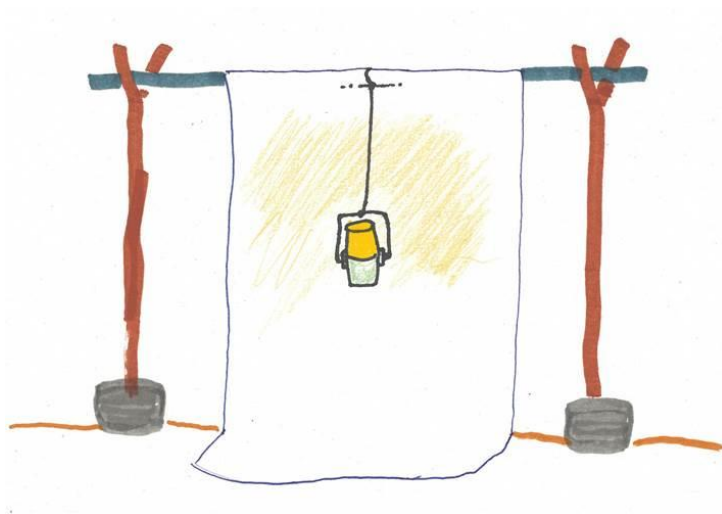
2本の木にロープを張り、そこに白い布を広げて張ります。物干し竿に白い布をかけても作ることができます。

②張った布に照明を当てます。

布全体がひかっているように見えたら成功です。



|         |       |        |
|---------|-------|--------|
| 対象      | 調べる時期 | かかる日数  |
| 低～高学年向け | 8月    | 1日～4週間 |



- ③虫がくるのを待ちます。  
場所がよければすぐに寄ってきます。

**気をつけて！**

まわりの人の迷惑にならないように気をつけてください。  
いろいろな虫がたくさん集まってきます。  
家の近くで明るすぎると、睡眠の邪魔になることがあります。

**3. まとめ方のヒント（こんなことがわかったらおもしろいかも）**

例えば：

- ・どのような虫がいるかな？
- ・昼間の虫とおなじ？ちがう？
- ・林の中と原っぱで、虫の種類はおなじ？ちがう？
- ・20時と24時で、虫の種類はおなじ？ちがう？
- ・8月のはじめと終わりで、虫の種類はおなじ？ちがう？
- ・虫の種類を決めて、時間や季節で集まる数は変わるかな？



|         |       |        |
|---------|-------|--------|
| 対象      | 調べる時期 | かかる日数  |
| 低～高学年向け | 8月    | 1日～4週間 |

## ○動物を観察する

前を通ると反応して撮影するセンサーカメラを使って森で生活している動物を観察してみましょう。

センサーカメラは野生動物を観察ためによく使われます。最近では以前と比べて安価なものも増えており、ホームセンターの防犯コーナーなどでも購入できます。



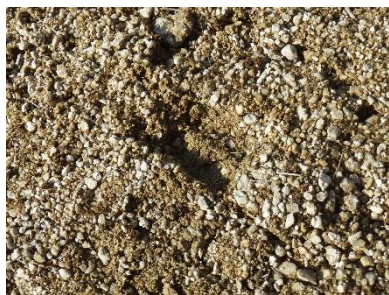
1. <sup>じゅんび</sup>準備するもの（箇条書き）
  - ・乾電池式のセンサーカメラ
  - ・記録用のSDカード
  - ・ひも（カメラを取り付けるため）
  - ・動物図鑑
  - ・パソコン

2. <sup>てじゅん</sup>手順

林の中にカメラを仕掛けてどんな動物がいるのか観察します。

①動物の通り道（けもの道）を見つけます。

林の中をよく見ると、足跡やフンがあるかもしれません。もしかしたらかじられた木の実や葉っぱがちぎられた木を見つけることができるかも。これらはフィールドサインといって、動物たちが近くで暮らしている証拠です。



足 跡



ウサギの足跡（雪上ですが・・・）



フ ン



食べられた葉っぱ

|         |       |        |
|---------|-------|--------|
| 対象      | 調べる時期 | かかる日数  |
| 低～高学年向け | 8月    | 1日～4週間 |

その近くをよく観察してみましょう。人が通らないようなところに道のように見えるところや小さなトンネルが見つかるかもしれません。誰が通った道か調べるチャンスです。



トンネル



けもの道

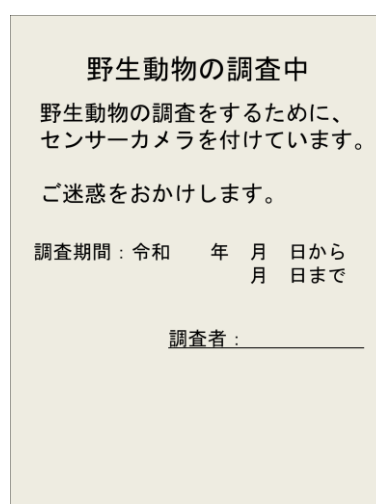
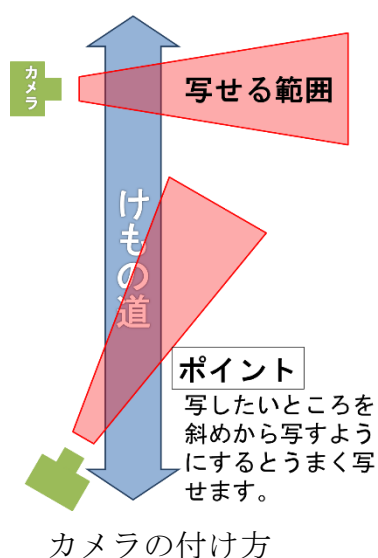
②センサーカメラを取り付けます。

動物の通り道（トンネルやけもの道）を見つけたらセンサーカメラを仕掛けます。

カメラを仕掛ける場所は、見つけた道の 斜め前から撮影できる場所がいいです。場所が決まったら撮影開始です。

**気をつけて！**

人が通る可能性のあるところでは、カメラがあるとびっくりしますので、なるべくしないようにしましょう。もし、そのようなところでしたときは、看板を付けて近くを通る人にカメラがあることを知らせるようにしましょう。



看板の例

|         |       |        |
|---------|-------|--------|
| 対象      | 調べる時期 | かかる日数  |
| 低～高学年向け | 8月    | 1日～4週間 |

③何が写っているか見てみよう。

1週間ほどしたら、何が写っているか見てみましょう。



ノウサギ



タヌキ



アナグマ



キツネ



イノシシ



シカ



キジ (メス)



カラス

### 3. まとめ方のヒント (こんなことがわかったらおもしろいかも)

例えば：

- ・どんな動物がいるかな？
- ・何時ぐらいに行動しているのだろう？
- ・いつも同じ個体かな？
- ・見つけたフィールドサイン (フンや足跡など) はどの動物のものなんだろう？

|         |       |        |
|---------|-------|--------|
| 対象      | 調べる時期 | かかる日数  |
| 低～高学年向け | 8月    | 1日～4週間 |

○ <sup>たんきゅう</sup>探究のヒント

- ・同じことを時間や場所、季節を少しずつ変えてみて、同じところや違うところを見つけてみましょう。
- ・不思議に思ったことがあったら、それがあなたのひらめきです。本やインターネットで「？」を「！」にしましょう。

○ <sup>ちゅうい</sup>注意

- ・観察するときは、その土地の所有者の了解をもらいましょう。また、公園などみんなが使うところでは、他の人の迷惑にならないように気をつけましょう
- ・山や野原にはハチやケムシなど毒をもつ生き物もいます。また、トゲのある植物もありますので、なるべく肌が出ない動きやすい服装（長そで、長ズボン、運動靴、軍手など）で行ってください。
- ・蚊取り線香、防虫スプレーなど、虫除け対策をしてください。
- ・山に行くときや、夜に行動するときは大人と一緒に行ってください。
- ・山で大型の動物に会うと、びっくりして向かってくることがあります。鈴やラジオを鳴らしたり、友達とおしゃべりをして自分がいることを動物に知らせてあげると、会わないように避けてくれます。